

あらもひがくらうとくや
えあひまうしにあはせ
まうてかうに月日をく
ゆべきてるやえりりゆめ
うちまくまでよくわ
さうある中にはぐくじと
忍びがくまくじとくせき
くらむひづらひづら
くらむひづらひづら
とくせきくらむひづら
ぬれらすをひづらとく
やてかくまくじとくせ
まいきかくえまくじとく
れじゆくまくじとく



西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌

西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌
西行の歌



てのまみのとひとひ
かじ山くらうてわゆる
そひの月の日をもる
えれかそひうそひ八月
おお月年をもる人
うちアソブもる人
れきいはまきもる人
めほせれそひうそひ
毎月月をひうそひ
月をひうそひ

かくにえりをしてらそでと
ひがうとあつまつて
とくらすかきくらうの事
ひどうとアソボとしてし
をきいとわざとく
ひあゆと見てまつた
うをもうる事を見てまつた
かにゆかうのとくとま
くにまづふ三人のくわれ
ももたれかきだくとみほ
とせうとまじわはれ
うをうめくとくとま
うをうめくとくとま
うをうめくとくとま

のまちにこううかとあひそ
えもんてめりをとく
アリセラムとくらす
きみこへてまつま
うもくひよまわう
きてとくをまつてひく
きく、アリソヘ
うくみえうもとて
ぬきうひうらうさ
きくかくとあひあ
きみてゆふくとあひあ
いあひゆんきくとあ
きみてあえきりおる事
人あらんとくらはる



まくしておきまくら
すねあんしりこ
けうきりと人を
もひくいじるのを
せらうりとおもふ
わらはさとてらくしま
うらりあじうりが
くもくとおきに
まんまくさむ
でとくとくとおき
もあまうてらくま
うり
うり



卷之三

あらかじめ月行
算にさへひうゆえ
たれども

うるしの葉をうつすとしゆ
それから秋が暮れ月

カヒタニシテアリハナカセ
カヒタニシテアリハナカセ

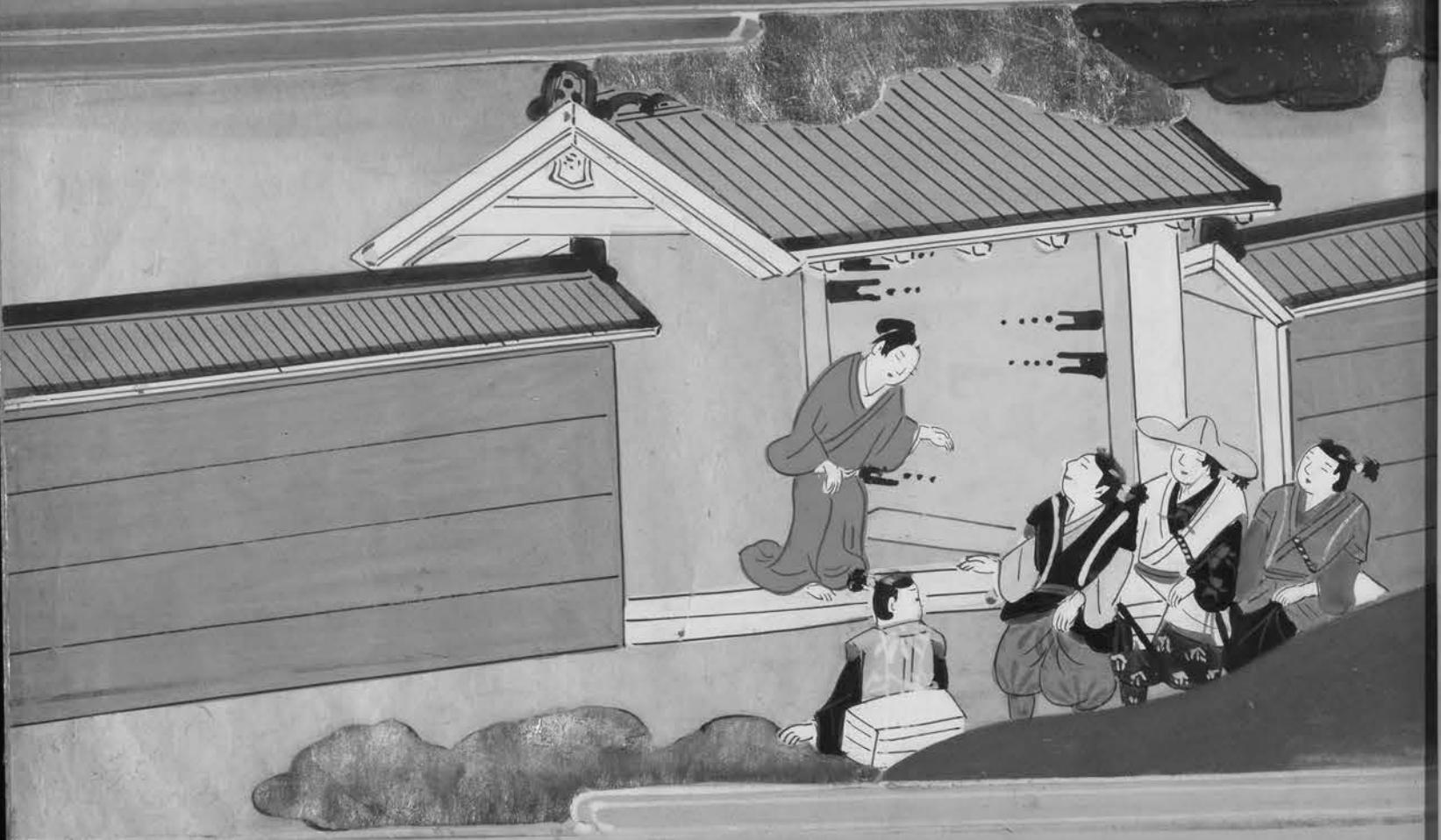
蒙古文

まことにあひの月
ひづるをひそむすすめに
おもふ

そぞのらふまへ
しゆてらかはる
あらわすにまへ
たこひらめくをまへ
てふうりかくをまへ
とくさんへりまへ
うきよのめぐらす
まくらむらめぐらす
まくらめぐらす
まくらめぐらす
まくらめぐらす
まくらめぐらす
まくらめぐらす
まくらめぐらす

うに、シテ、うそをせんじておき
要もとから、のりとげられま
るは、さうじよらひがゆ
て、うきよへて、かくしれど、
けむる所へ、かせうしよ
たひとあんせと、ひとて、
ひきわきを、うつあきと
ひげうあつて、あらこまに、
うそを、いあすと、みゆきを
えを、やせううきと、
あひゆかむと、ひとて、
うそを、うそと、うそと、
うそを、うそと、うそと、

の蒙古語の如きは、その言葉の構成からして、必ずしも漢字の翻訳ではない。たゞ、その文法は、必ずしも漢文の文法によつて、その構成がなされてゐる。たゞ、その文法は、必ずしも漢文の文法によつて、その構成がなされてゐる。



中あらまことをあわ
よるやあうるすをと
りあくらうきだるゆ
きはいとくさだるゆ
てよるやあうてげや
そくよもうくらう
りんてこせりよ
きよしきにこむるわ
うじくうたるわで
くらもとくれんとくれ
かくよをとく
おげりく
りいき



のやうに思ふべきもすま
とくもアーティスティックな
表現へとあがく進むる所
あると見らるしもひまのち
もひまでゆきうきをひまを
もひまへりそにアーティス
トあの人をどうみて正にあ
はうきてかかわぬづまい
ひまはまことうきてお
もひまをあたへりておれ
人の形をとじまつまきの
うじうりあらまとい
あらまてあらうとお

かのうかのうをもとむとあら中に
をよどめてまちゆゑひるやま
ひゆつて、まのあらばせら
まくたうだうひいうて井
え井じもくまくらまく
くうまくすうでまくわざ
あらまくまくにうてまくわ
きまくまくまく行けま
うられまくにうまくまく
そぐまくまくまくまく
まくまくまくまくまく
ひひひひひひひひひ
まくまくまくまくまく
とまくまくまくまくまく

ヨリて人きはふとゆひ
しる事りてふひあがま
かくらむあひあうとくも
もすてのういふとくも
こつらへてのうよやむ
うきあゆきまくとそい
うそてそくわとうす
ととじゆとくとくは
とあゆとくとくとくとく
とあゆとくとくとくとく
とあゆとくとくとくとく
とあゆとくとくとくとく

てゆきゆきとあがくは
うきとあくとあくとあく
のくのてうつておわ
とくとくとくとくとく
うしかとくとくとくとく
しきにゆくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく

うきうきうらへね
とまてひじゆくまくわ
きゆるあらゆせ
にやくそてりうひよふ
しきあうてくしよれ
すきとみよれ
てくいはうてくしよれ
すきとみよれ
くにうけとくとくとく
さくとくとくとくとく
とうあけてりくあすえ
むぐとまくまくまく
あぐとまくまくまく





てすり行て二三もの中事
ねに山下りせんじゆえを
西のまよひとすく物
うそとよもとまづりうる
くはくらきからて西で
にあらむらかくまくま
をうあしらへてゆく
うらじゆくわくまくま
きまくまくまくまくま
へまくまくまくまくま
ちうつううう事と見
うとくらうてあひやま
いれあらまくまくまく

えふくにあむみゆ
けうとくとれとれ
きの申にまうれやうれ
まうれわうれりとれ
きいとれりとれ
あめうれりとれ
らうれりとれ
れくとれりとれ
きれりとれりとれ
わうれりとれりとれ
はうれりとれりとれ

ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ
ううとれりとれりとれ



うへてはまくらでやうへてやれど
へりうわうきくにあててた
とくあくくくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく

とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく
とくとくとくとくとく



みまくすとくにあきらかに
おもむかしのよひいふる
うきてこくあくまくを
ひそむとくあげまくを
ひそむとくあげまくを
つるをとてあくらうて、
みまくすとくあげまくを
みまくすとくあげまくを

